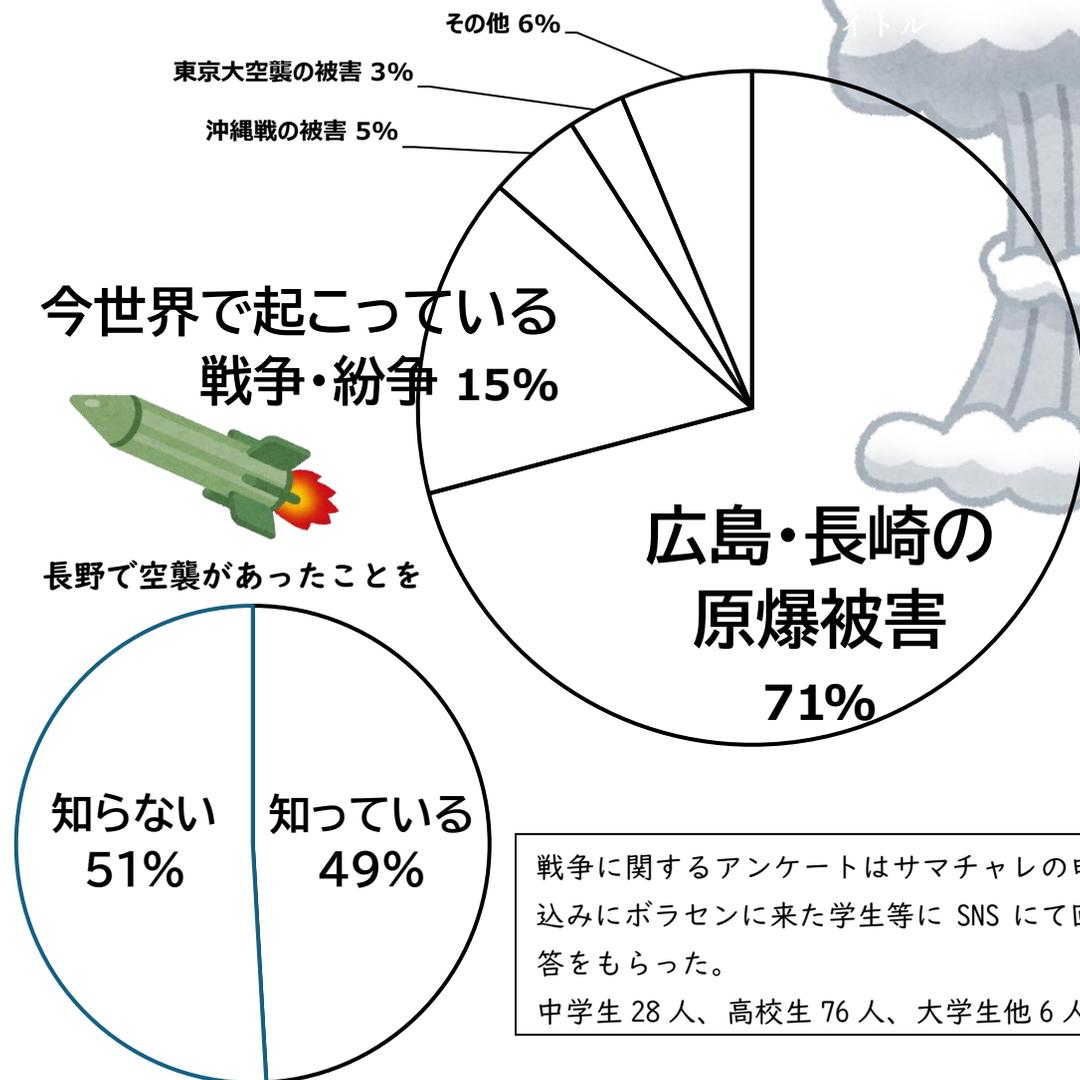


～サマーチャレンジボランティア参加者110人に聞いた～

戦争と聞いたときにイメージするもの・・・



戦争に関するアンケートはサマチャレの申込みにもボラセンに来た学生等に SNS にて回答をもらった。
中学生 28 人、高校生 76 人、大学生他 6 人

戦争の歴史
を
から
学ぶ

八月十五日は日本全国が先の大戦に思いをはせ、二度と同じ過ちを起さないよう不戦の誓いをあらたにする日である。

戦後八十年、私たちの意識はどうなっているのかサマチャレに申込みに来た学生を中心に戦争や平和への意識調査を行い、110人から回答を得た。

「戦争と聞いたときにイメージするもの」は、「広島や長崎の原爆被害」が71%と一番多く、「今世界で起こっている戦争」が15%だ。また、「長野空襲」を半数の人が知らなかった。

戦争とは何なのか、なぜ戦争をしなければならなかったのか、戦争の歴史を学び、歴史に学び、歴史から学ぶことが必要ではないだろうか。

8、9月号の2回にわたり、戦争の記憶を紡いでいるグループに焦点を当て、戦争の歴史をどう伝承しているのか、活動者の想いから戦争の実際を伝えていきたい。

まだある戦争の記憶

戦争に対する意識調査から、戦争のイメージは「広島・長崎の原爆被害」が圧倒的に多かった。戦争の実際をどう伝えていくのか？ 戦時の記録や資料保存等に携わる人、更に風化させまいと記憶を紡ぐ活動を続ける人に焦点をあてて見た。

ふくろうおばさんが紙芝居で伝える戦争

創作紙芝居作家、赤澤節子さんは、平成18年に長野市内で実際にあった空襲の話をもとに「十五の夏」という戦争に関する紙芝居を作りました。

福祉施設や学校、お茶のみさろんなどで上演をすると、特に高齢者の皆さんが集まる場では、「それは私のです」「この絵は私が見た光景とそっくりです」など、体験者としての声が沢山あがりました。

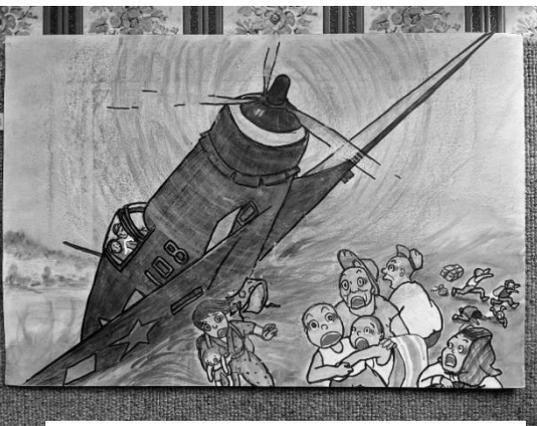
そのエピソードを残したいと、その都度、紙芝居を足しました。今では当初より十枚増え、タイト

ルも「長野にグラマンがやってきた日」にバージョンアップ。赤澤さんは「身近に起きていたことを知ってもらい、戦争について考えてもらう機会をじわじわと広げていきたいいな」と話します。

この紙芝居を作成したころは、戦争関係の紙芝居はやってほしくないと言われることも多かったけれど、現在は、逆に上演してほしいという声が多くなったそうです。

赤澤さんの紙芝居は、一枚の絵がその人の人生に重ね合わせられ、観る人を通して想像の世界へといざなっています。

(かえる)



一枚の絵が戦時下へ、想像の世界へといざなう

鶴田さんの戦争体験記

炒り大豆缶に入れ、空襲時に防空壕へ

昭和16年太平洋戦争が勃発した時、私は小学校一年生でした。この頃は食料がなくなり、両親は苦労したと思います。

そのような中、私はご近所の子と一緒に神社の空き地を耕し土手を作り川からバケツで水を入れて苗を植えました。

当時はアワのご飯や麦のご飯、大豆を炒って入れたご飯、さつまいもご飯：私は大豆ご飯とさつまいもご飯が美味しく

て好きでした。やきびでお餅を作り一年中私たちが6人兄弟に食べさせてくれました。私と弟が「もっと食べたいよ」と言うとうと台所からご飯を持ってきてくれました。今思うとそれは両親の分だったかもしれせん。困った顔をしないで私たちに食べさせてくれて



戦場からの手紙

※1

解読
先日の空襲は、我が家も甚だしく被害を受けました。近頃、空襲は頻りに繰り返されています。私は、空襲の時は、防空壕に入ります。その時、私は、大豆を炒って缶に入れて持ち込みました。防空壕に入ると、大豆を炒って食べました。大豆は、栄養が豊富で、美味しく食べられます。空襲の時は、大豆を炒って食べると、心も落ち着きます。空襲の時は、大豆を炒って食べると、心も落ち着きます。空襲の時は、大豆を炒って食べると、心も落ち着きます。

昭和の戦争年表	6年	7	12	13	14	15	16	17	18	19	20年	4/1	8/6	8/13	8/15	9/2				
満州事変	7 五・一五事件	12 日中戦争開戦	13 国家総動員法公布	14 ノモンハン事件	15 第二次世界大戦開戦	15 日独伊三国同盟調印	16 太平洋戦争開戦	17 ミッドウエー海戦	18 長野市初の空襲警報	18 女子勤労挺身隊 学徒出陣	19 緊急国民勤労動員 学童集団疎開	東京初空襲	松代大本営工事開始	東京大空襲	米軍沖繩上陸	広島原爆投下	長崎原爆投下	長野市空襲	終戦詔書放送	降伏文書調印

降伏のみことのり

妻をやく火 いまぞ熾りつ

この自由律俳句の作者松尾あつゆきは長崎で被爆し、三人の子どもと妻を亡くし、その亡きがらは自らの手で火葬した。その時、終戦の詔書放送が流れた。妻を焼く火を見つめながら「今になって降伏とは何事か。妻は、子は一体何のた

めに死んだのか」と涙した。

俳人の彼は戦争俳句を数多く残している。短い文の中に情景と想いが凝縮されており、長文に劣らない衝撃を覚えてしまう。

松尾氏は戦後長野に移り住み屋代東高校に赴任、英語を教

モノは真実を語る

「戦後80年の今、あえて戦前80年(くらい)を見る」をテーマに「戦前80年展」が開催されます。信州戦争資料センターが主催する展示会は、今年で9回目を迎えます。毎回テーマに合わせて展示していますが、あえて武器や兵器といったものではなく、兵隊から家族へ送られた手紙

や傷痕勲章、チラシ、冊子、新聞、ラジオなど、戦時中の日本を知る大変貴重なものばかりです。主催者がこうした資料を集めたきっかけは20年ほど前に木製の銃を手にした時「子どもにこういう銃を持たせてはいけないと強く感じたから」と振り返え

ります。それを機に色々な戦争に関係する物を見つけては集めを繰り返し、気づけばこれまでに集めた手紙や資料・物品は、6千点に及びます。今回の展示会は、敗戦を境とする戦前のおおむね80年間の実物資料が多数展示されます。戦前80年の日本は？そもそもなんの戦争だったの？を知ることができ、展示会を開催し

えている。この時の教え子が竹村昌男氏(川中島在住)である。竹村氏は松尾あつゆきと親交を深め、彼の戦争体験を俳句と共に「花びらのような命」という本にまとめている。「被爆体験を聴く会」代表の土田昇氏は2023年、竹村氏と松尾氏の孫「平田周」氏を長野に招きイベントを開催した。竹村氏を通して戦争体験を後世に語り継ぐことを自身の



(みつ)

展示会
2025年8月13日(水) ~ 20日(水)
時間: 9:30~17:00
会場: ギャラリー82

ます。実物資料から当時の思いを巡らせ、過去を知り、これから(未来)を考える場に入れ、どうぞ足踏みみ入れてみませんか？
(キヤパプー)

戦後80年の今、あえて戦前80年(くらい)を見る

8/13wed - 20wed
9:30-17:00
ギャラリー82
入場無料

戦場からの手紙

※2



赤澤節子さんの紙芝居上演会
2025年8月27日(水)
時間: 10:00~12:00
会場: 長野市ふれあい福祉センター1階
参加費: 無料
問合せ: 026-227-3707(わたり)

第40回 長野空襲を語る集い
2025年8月13日(水)
時間: 9:30~11:30
会場: 長野市ふれあい福祉センター5階
参加費: 無料
問合せ: 090-5550-6695(傳田)

映画『ひろしま』上映会
2025年8月24日(日)
時間: 14:00~17:00
会場: 長野市ふれあい福祉センター5階
参加費: 無料
問合せ: 090-4011-6630(土田)



助心を揺さぶる公開審査！理想を語れ！

長野市社会福祉協議会と*ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク(以下支援ネット)は、ボランティア活動を応援する助成金を出しています。審査は申請団体が審査員の前でプレゼンテーションをする公開審査会です。

今回は「特別審査員の学生」と「支援ネットの会員」の2つの視点から審査会を振り返りました。

*支援ネットは企業・個人などボランティア活動を繋ぐ団体です。

学生審査員の視点から

▼えっ！私たちが審査員…？

助成金は毎年個性あふれる団体が手を挙げてきます。今年度は子どもに関する団体が6団体も申請してきました。そこで、審査員として選んだのは今年の



特別審査委員

▼どつきどきどきの審査員
事前打ち合わせも審査会でファシリテーターを務めるフリージャー



特別審査委員

「市内でこんなにも活動しているひとがいるなんて！」
「団体の熱意や行動力に心を動かされた」

と、若者ならではの目線でエールを送ります。

支援ネット会員の目線から

▼審査のポイント

「思いが強すぎてもなかなか伝わらない。一辺倒の説明も面白くない。いかにわかりやすく伝えることが出来るかが焦点になってくる」と語るのは支援ネット会長の込山さん。

社会の問題点、理想を語り、この助成金で何をするのか、効果は

どのくらいあるのか、そんな点が審査のポイントになるのだそう。そこまで厳しく話すのは、もちろんその団体にもっと良くなってほしいから、そしてこの助成金が支援ネット会員一人ひとりの会費からこそのこと。自分のお金が使われるとなれば真剣に参加し、アドバイスをいうのは当然。支援ネット側の審査員からは「この応援金がないと活動はできないのですか？」

「この助成金が受けられなるとなったらどんな手が考えられるのか？」など厳しい質問も飛び交います。でもそれは応援の形。その団体に期待し、さらに良くなつてもらうためのモノでした。



公開審査会場

▼目指すところは…

過去に審査を経験した団体からは、「この公開審査を経験したら怖いものがなくなった」との感想をもらったこともあるのだとか。「求めず与え合う時代になれば、日本は支え合いますが拡がり変わります。」とこれからの社会に対し期待を込めてお話しいただきました。

ばらくお待ちください。

日時 10月18日(土)10:00~12:00

場所 まち歩きセンター伝承館(松代町松代577)

問合せ・TEL 090-4461-1403(担当:きたむら)

■第40回 長野空襲を語る集い

みなさんは、この長野でも空襲があり犠牲者が出たことを知っていますか?

戦争の真実を知り、平和について語る集いにお越しください。

日時 8月13日(水)9:30~11:30

場所 ふれあい福祉センター 5階

問合せ 長野空襲を語り継ぐ会(担当:伝田豊美)

TEL 090-5550-6695

■第15回玉音放送と戦争体験を聞く集い

終戦を告げる玉音放送を聞き、80歳代の方々の戦時下での体験など聞きます。3部として高校生がこれまでの発表者の体験手記を朗読します。

日時 8月15日(金)13:00~

場所 もんぜんぶら座 3階304

問合せ 自分史を綴り語り継ぐ会(担当:細川)

TEL 026-237-9393

■被曝80年過去を学び・平和を考える 映画「ひろしま」上映会

昨年好評頂いた「ひろしま」の再上映会です。核兵器の恐怖を知るこれ以上ない作品です。

多くの人々に絶対に見て欲しいです。

日時 8月24日(日)14:00~17:00

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

問合せ 被爆体験を聴く会 代表(担当:土田)

TEL 090-4011-6630



いつも傾聴でんわ

哀しかった・辛いな・嬉しいことがあった...
どんなことでもお話してください。

お電話
待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00 水 14:00~21:00



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
毎月第2火曜日19時ON AIR

長野ボランティアステーション

8月12日(火)は

「プラナガノin戸隠」です。

出演者大募集中

お問合せ/長野市ボランティアセンター



長野市ボランティアセンターへ
ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
(6月12日~7月16日分)

瀧澤史貴 松下泰子 井口八重子 青木一男 やまびこ会
デイサービス花時計 瀧澤行政書士事務所 長野市収納課
長野市市民窓口課証明担当 長野市地域包括ケア推進課
長野市保健所健康課 長野市保育幼稚園課
長野市上下水道局浄水課 若槻住民自治協議会
大豆島住民自治協議会 匿名 3事業所 9名(敬称略・順不同)



どなたでも
「ふらっと」
参加できます



長野市ボランティアセンターで開催しています

問:長野市ボランティアセンター TEL:026-227-3707

エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して封筒を作ります。年齢・性別を問わず、ご参加いただけます。



10月7日(火)10:00~11:30

11月4日(火)10:00~11:30

切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小箱を作ります。のんびりゆっくりおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。

8月8日(金)13:30~16:00

9月12日(金)13:30~16:00



ねこはんでんサロン

ねこはんでんの作り方を教えていただけます。楽しく、おしゃべりしながらご参加いただけます。お気軽にお越しください。

8月20日・26日・29日・9月5日・8日・12日

~開催時間はお問合せください~



グリーンボラカフェ

花や緑が好き、ちょっと園芸にかかわってみたい方など、どなたでも気軽に参加していただけます。

8月7日(木)13:30~15:30

9月11日(木)13:30~15:30



読者アンケートにご協力ください

右のQRコードを読み込んでいただき、感想やかわらばんで取り上げてほしい内容を投函してください。



「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への音訳ボランティアグループ「やまびこ会」による音読版「ボランティアかわらばん」を長野市社会福祉協議会のホームページで公開しています。

こちらの二次元コードから →



募 集

■ボランティア募集

知的障がいのある人達にスポーツレーニングと競技の場を提供。さまざまな競技を実施中ですが、まずは手近なボウリングから（一度見学に来てみてください）

日時 8月31日(日)、9月14日(日)、28日(日)、
10月5日(日)、12日(日)、26日(日)9:00~11:00

場所 ヤングファラオ レーンNo.51~60使用予定

問合せ スペシャルオリンピックス日本・長野

TEL 026-225-1550 (担当:本堂)

■ボランティア募集！あがり症の交流会

軽いあがり症～社交不安症の会。悩み事、趣味話、認知行動療法等メンタルヘルス勉強。楽しくランチ&カフェ巡り。BBQ、お出掛けイベント、映画、美術鑑賞。

日時 【トーク】8月31日(日)13:00~終了後カフェへ

場所 長野市ふれあい福祉センター

対象 18歳~50代 継続参加できる方

参加費 月会費500円(ボランティアも)、学生免除

問合せ SADサークルNagano (担当:宮下)

TEL 090-6539-1363

メール sad_nagano@yahoo.co.jp

講 座

■~自分と向き合う大切な時間~ 五感で楽しむ中国茶

中国茶はストレスで閉ざされた心を広げて、縁をつなげます。中国茶の世界は五感をフルに使い、自分と向き合う大切な時間です。あなたも、ぜひ体験してみてください。

日時 8月31日(日)、または9月3日(水)
両日とも14:00~16:00

場所 長野市生涯学習センター 3階第4学習室

講師 林圭子 氏

参加費 各回700円(当日持参) 対象 どなたでも

定員 各回24人(先着順) 申込締切 8月27日(水)

問合せ 長野市生涯学習センター (担当:竹田)

TEL 026-233-8080 FAX 026-233-8081

メール s-gakusyu-c@city.nagano.lg.jp

お知らせ

■カサンドラの会 お茶会

アスペルガー症候群(ASD)を支える配偶者や関係者(ASDの当事者ではありません)が日常生活の中で困っている事、なかなか話せない事を気軽に話しませんか？

*途中参加・途中退場もOK

日時 8月9日(土)13:00~17:00

9月6日(土)10:00~17:00

場所 ハーモニー桃の郷 3階交流ホール

(長野市川中島町今井1387-5)

参加費 300円(お茶菓子代)

問合せ・メール zxa5036@yahoo.co.jp(澤山)

stagea7777@icloud.com(水野)

■お盆交流会とミニフリーマーケットへ いらっしゃ~い!!

昭和100年のお盆交流会です。みんなで平和な社会の構築を願い乍ら楽しい時間を共有しましょう。今年は「ミニフリーマーケット」も予定しています。

日時 8月15日(金)11:50集合(時間厳守)

場所 ふれあい福祉センター 4階

対象 精神障がいに関心のある当事者・家族・一般

参加費 300円 申込締切 8月8日(金)

問合せ ホワイトナッツ(担当:本田)

TEL 026-226-8740

■“減塩は体に良いの?”

減塩は体に本当に良いのだろうか?塩化ナトリウム、ミネラルの塩?夏は塩を取らないと倒れます。

果たして…疑う事も必要です。健康は情報を持ち選択して行きましょう!

日時 8月9日(土)13:30~

場所 安茂里公民館 2階学習室

講師 中医学・理学博士 中嶋研二 氏

定員 20人 参加費 500円 申込締切 8月8日(金)

問合せ・TEL 090-2179-9741(担当:高遠)

FAX 026-227-6919

メール sowing.net@gmail.com

■介護、死別を語ろう。

こんにちは!介護、死別の経験談を共に語り、励ましあう会を主催しております。よければ、ワイワイお話しませんか?ご連絡、お待ちしております!

日時 8月29日(金)12:00~14:00

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

問合せ・TEL 080-5140-9026(担当:高山)

■カノンの会「大人の発達障がい当事者」 の交流会

発達障がいがあることで、困っていることや、悩んでいる事、趣味や興味のある事などを気軽に話せる場所です。グレーゾーンの方もお気軽にご参加ください。

事前にお申込みが必要です。

日時 9月13日(土)13:20~16:40

場所 もんぜんびら座 601号室

対象 当事者及びご家族の方 参加費 無料

問合せ カノンの会(担当:宮下)

TEL 080-8821-3327

■いちごカフェまつろ 中止のお知らせ

8月23日(土)は主催者の都合により中止致します。

参加予定された方申し訳ありません。

次回、10月18日(土)は元気に開催致しますので、し



第71回長野市社会福祉大会 / 令和7年度長野市地域福祉推進セミナー

8.29 2025 FRI

13:00 - 16:00

※開場12:00 / 受付12:30

定員 500名 ※要申込

参加費 無料

手話通訳 要約筆記 あります

長野市若里市民文化ホール

住所 長野市若里3-22-2 ※ビッグハット隣です

第1部 第71回長野市社会福祉大会

13:00-13:45 表彰
社会福祉功労者表彰 他

第2部 令和7年度長野市地域福祉推進セミナー

14:00-15:00 講演 講師:宮本太郎 氏(再掲)

15:00-16:00 パネルディスカッション
パネリスト(※調整中)
コメンテーター 宮本太郎 氏(再掲)
→市内で孤立防止に関する取組を実践している団体・グループ・地域住民からの実践報告から本市における今後の取組みの方向性について考えます

特別展示 市内の福祉推進員活動紹介

市内各地域で活動する福祉推進員の皆さんの取組を紹介しています。ぜひご覧ください！

※展示時間は12:00~15:00となっていますのでご注意ください

フードドライブ
にご協力ください

当日同会場において「フードドライブ」を実施します

※ご家庭で眠っている食料をご寄付いただき生活に困っている方の支援に役立てる活動です。食を通じた支えあい活動へのご参加をお待ちしております

主催 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 / 共催 長野市

講師紹介



講師 宮本 太郎 氏
(中央大学法学部教授)

中央大学法学部教授。北海道大学名誉教授。福祉政治論専攻。1958年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程修了。内閣府参与、総務省顧問、社会保障審議会委員など歴任。現在も内閣府「孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議」構成員として国の政策立案に携わっている。

講演テーマ

つながりを楽しめるまちづくり -地域共生社会に向けて-
「孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議」での議論を踏まえた社会的孤立に係る国の動向、そして当該問題に対して社協、行政、各種法人及び地域住民がそれぞれの特性を活かしてどのように取り組むことができるか全国各地でご活躍の宮本先生の貴重なお話をお聞きできます

お申込み方法 ※定員管理のため要申込としています

おひとりでも複数でもお申込みいただけます。なお、複数でのお申込みの場合は代表者氏名(もしくは団体名)と代表者を含めた参加人数をご確認の上、お申込みください
※社会福祉大会で表彰を受けられる方はお申込み不要です

インターネットから(24時間受付)

<https://forms.gle/c8PVcrYqG9pbtZdt7>



お電話から(土日祝日除く8:30~17:15)

026-227-3030 ※お掛け間違いのないようお願いいたします
申込先:長野市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉担当



景色の良い小田切をスマホで 写真に撮って投稿しよう

幾重にも連なる山並みの向こうに見えるアルプス遠景は、とってもお勧め!古墳~鬼女紅葉~ 戦国武将の痕跡が残る小田切地区。気軽にスマホで撮影してスナップを投稿してみましよう♪

投稿サイトはこちらの二次元コードから→



《問合せ》 小田切地区住民自治協議会
電話 026-229-1511 (写真同好会:担当 竹内)

HP掲載・無料配布中

長野市ボランティアセンター ボランティアグループ

令和7年度ボランティアセンター

登録団体の活動等を掲載した冊子ができました!

配布場所 : 長野市ボランティアセンター
掲載場所 : 市社協ホームページ

《問合せ》

長野市ボランティアセンター

TEL:026-227-3707

